

PRESS INFORMATION

2011年5月15日
株式会社日本レースプロモーション

2011年全日本選手権フォーミュラ・ニッポン開幕戦決勝レース

アンドレ・ロッター (ペトロナス・チーム・トムス) 優勝!

2011年全日本選手権フォーミュラ・ニッポン第1戦鈴鹿サーキット決勝レースが、5月15日(日)三重県鈴鹿サーキット国際レーシングコース(1周 5.807km)で開催され、アンドレ ロッター (ペトロナス・チーム・トムス) が、38周、220.666kmを1時間08分16.849(平均時速193.90km)で走り切り見事優勝を果たした。2位は小暮卓史(ナカジマレーシング)、3位は中嶋一貴(ペトロナス・チーム・トムス)だった。

レースは、予選6番手のポジションから絶妙のスタートで2番手まで上がったアンドレ・ロッターが、トップを走る小暮卓史を追走。21周目に先にロッターがピットに入り、次周回の小暮がピットイン。そこで順位が逆転しそのままロッターが逃げ切り優勝した。

(天候:薄曇り、気温:25.4℃、路面:ドライ、観客:20,500人)

アンドレ・ロッター優勝コメント

完璧なタイミングでスタートを決めることができた。ショートストップのピット戦略があたり、

トップに立てたのはクルーのお陰だと感謝している。

スタートを優勝で飾ることができて、モチベーションが上がったね。



左手: アンドレ・ロッター選手

右手: 舘 信秀 監督

Series Partner

HONDA

TOYOTA

Series Supporter

BRIDGESTONE

Promotion Partner

人 NINKI-ICHI
人気酒造



アンドレ・ロッターラー選手の走り

2011年全日本選手権フォーミュラ・ニッポン

開催スケジュール

日程	ラウンド	開催サーキット
5 / 14～15	第1戦 鈴鹿サーキット	鈴鹿サーキット
6 / 4～5	第2戦 オートポリス	オートポリス
7 / 16～17	第3戦 富士スピードウェイ	富士スピードウェイ
8 / 6～7	第4戦 ツインリンクもてぎ	ツインリンクもてぎ
9 / 3～4	第5戦 鈴鹿サーキット	鈴鹿サーキット
9 / 24～25	第6戦 スポーツランドSUGO	スポーツランドSUGO
11 / 5～6	第7戦 ツインリンクもてぎ	ツインリンクもてぎ

Series Partner

HONDA

TOYOTA

Series Supporter

BRIDGESTONE

Promotion Partner

純 NINKI-ICHI
人気酒造

開催概要

- 大会名称：鈴鹿2&4レース
- レース：2011年 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン 第1戦 鈴鹿サーキット
2011年 MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ 第1戦
2011年 アチーブメント全日本フォーミュラ3選手権 第1戦・第2戦
2011年 フォーミュラチャレンジ・ジャパン 第3戦&第4戦
- 開催日：2011年5月14日(土)～15日(日)
予選スタート5/14(土) 13:30～
決勝スタート5/15(日) 13:45～
- 開催地：鈴鹿サーキット(三重県)
(決勝レース距離：5.807km/1周 x 38周 = 220.666km)
- 主催：財団法人日本モーターサイクル協会(MFJ) / グループ オブ. スピードスポーツ(GSS)
鈴鹿モータースポーツクラブ(SMSC) / 株式会社モビリティランド 鈴鹿サーキット
- 公認：国際自動車連盟(FIA) / 社団法人日本自動車連盟(JAF) / 国際モーターサイクリズム連盟(FIM)
- 主管：株式会社日本レースプロモーション(JRP) / 日本フォーミュラスリー協会(NFSA)
- 後援：文部科学省/観光庁/三重県/鈴鹿市/鈴鹿F1グランプリ地域活性化協議会/鈴鹿商工会議所
東京中日スポーツ/中日スポーツ/中日新聞社

*この件に関するお問い合わせは下記担当までお願いいたします。
担当：遠藤清人 (MP:090-3401-8112) (e-mail: media@f-nippon.co.jp)
株式会社日本レースプロモーション (<http://www.f-nippon.co.jp/>)
102-0074 東京都千代田区九段南2-3-25 平安堂ビル
Tel:03-3237-0131 Fax: 03-3237-0135